

ガーデンシティふかや推進室 [ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

JAPAN BIRD HOUSE

第16回ジャパンバードハウスコンテスト2024

鳥の気持ちでハウジング



作品募集 鳥の視点で環境を考える

ジャパンバードハウスコンテストは、遊び心を大切に、鳥の視点で都市の環境を考え、人と人、人と自然とのコミュニケーションづくりを目指します。

【募集部門】

人間審査の部 デザインやアイデアを審査
鳥の審査の部 鳥が樂作り・子育てに使用したら審査に加点

【賞の内容】

最優秀賞 1点 副賞(クオカード)1万円

優秀賞 一般の部、小学生以下の部でそれぞれ1点 副賞(クオカード)5,000円

特別賞 数点 副賞(クオカード)2,000円

応募用紙 ふかや緑の王国のほか、市役所本庁舎総合案内、公民館で配布。市ホームページからも入手できます

申し込み 6月1日(土)～9月30日(月)に、作品と応募用紙を直接または郵送でふかや緑の王国へ
 ※詳しくは問い合わせ先へ

ふかやオープンガーデン『ばらの庭・初夏の庭』

“一番きれいなバラを見ていただきたい”今年も特別公開として、オープンガーデン『ばらの庭&初夏の庭』を39軒が公開します。バラが一番きれいに咲くこの時期に、ぜひご覧ください!

とき 5月11日(土)・12日(日)・18日(土)・19日(日)午前9時～午後4時

問い合わせ 深谷オープンガーデン花仲間・栗原さん ☎090-7183-3481

※自家用車でお越しの際は、交通ルールを守り、ご近所に迷惑の掛らないようお願いいたします。

※公開する庭は、花仲間のホームページ(右記QRコード)をご覧ください。



米づくり体験参加者募集

自分でお米を作って食べてみよう! 田植えから稲刈りまでの米づくりを体験!

とき・ところ 6月2日(日)午前9時～・ふかや緑の王国(田植え)

※田植え以降は稲刈りや脱穀・もみすり体験を予定し、稲の生育状況により次回以降の日程をお知らせします。

定員 先着10組(2人1組 小学生を含む家族(未就学児不可)) **参加料** 1,000円

申し込み 5月15日(水)午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ

※脱穀後の精米は11月のあかり展で配布します(1組3合程度、収穫量により変更となります)。



樹木・草花ガイドツアー参加者募集

ふかや緑の王国ボランティアの案内で初夏の王国を歩いてみませんか。

とき・ところ 5月25日(土)午前10時～11時30分・ふかや緑の王国

定員 先着20人

参加料 300円(王国植物花暦付き)

申し込み 5月10日(金)午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ



ふかや緑の王国 ホタル観賞会の開催

幻想的な光の舞をご覧ください!

とき・ところ 6月7日(金)・8日(土)午後7時30分～9時・ふかや緑の王国

※駐車場は隣接の花植木流通センター駐車場をご利用ください。

※天候によりホタルが飛ばないことがあります。

※ホタルの成育状況により中止となる場合があります。

※来場の際は、懐中電灯をお持ちください。



障害者施設を紹介します

社会福祉法人いこいの里 鶴亀工房

鶴亀工房は令和4年6月から開所しました。定員は30人のところ、現在は30人が利用しています。

施設内で実施する施設内就労では、自主生産品の製造販売のほか、漬物の軽作業などの受注作業を請け負って行っています。施設外就労では3カ所の一般企業に職業指導員が同行して作業を行っています。

自主生産品としては、『たんさんまんじゅう』の製造販売をしています。利用者の皆さんが、小麦粉をふるいにかけ、小豆を煮て、粒あんのまんじゅうを作っています。粒あんのほかにも、地元の深谷ねぎを使用したねぎ味噌や、レーズン、期間限定で紅はるかなどのまんじゅうを製造販売しています(原料は全て国産です)。

利用者の皆さんに作業を通して生きがいや楽しみをより多く提供できるよう、そして少しでも多くの工賃が支給できるよう、職員一同日々努力しています。

また、大規模災害に備え、災害用トイレ(マンホールトイレ)を設置できる設備を整えています。



▲鶴亀工房の外観



▲災害用マンホールトイレの設備

☎社会福祉法人いこいの里 鶴亀工房 ☎575-5750、障害福祉課 ☎571-1011、FAX 574-6667

新紙幣 あれこれ



お札に関するよくある質問

今回は意外と知らないお札のことを国立印刷局のホームページを参考にしながら質問形式で紹介します。

Q お札の表はどちら側ですか?

A 今までは発行されたお札の表裏の区別は、主模様が表、副模様が裏となっていました。その反対側が裏となっていました。

実際には、財務大臣がお札の様式を定める告示をする際に、官報に「表面」と表示された面が、正式に表面となります。現在の1万円札、5千円札、千円札では肖像のある面、2千円札では守礼門の図柄のある面が表面です。

ちなみに、硬貨は、年号がある面を裏と呼んでいるそうです。

Q お札の表裏にあるはんこは誰のものですか?

A お札の表のはんこは、お札の発行元である日本銀行総裁の印で、「総裁之印」と篆書体という字体で書かれています。

裏は、同じく日本銀行でお札の発行・回収などを担当する発券局長の印で、「発券局長」と篆書体で書かれています。

Q 今使っているお札は使えなくなりますか?

A 新しいお札が発行された後も、現在発行されているお札が使えなくなる予定はありません。

お札は、法律で無制限の強制通用力があることが定められています。法律上の特別な措置がとられない限り、この通用力を失うことはありません。現在でもすでに発行が停止されたお札のうち、18種類のお札が使えます。

出典 国立印刷局ホームページ (https://www.npb.go.jp/product/service/intro/faq.html)